

会 議 録

1 会議名

第1回上越市総合計画審議会

2 議題

(1) 審議会の運営等について

- ・ 上越市総合計画審議会 開催計画（案）

(2) 上越市の現状と課題について

ア 第6次総合計画の概要

イ 上越市の現状と課題

ウ 「市民の声アンケート」の結果

3 開催日時

平成30年5月23日（水）午後3時55分から5時20分まで

4 開催場所

上越市役所4階 401会議室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委員：濱祐子、荒川俊治、川崎直哉、小泉美佐子、松田曜子、山縣耕太郎、遠藤正樹、大野昇、金子幸二、岡田龍一、荻谷賢一、小嶋宏志、小林良一、白石雅孝、杉本正彦、高橋信雄、竹内靖彦、中條美奈子、早川英雄、早津正文、藤山作次、松川菜々子、大堀みき、土屋郁夫、中村真二、倉石義行、斉京貴子、武石雄司、宮下孝洋
- ・ 事務局：塚田企画政策部長、大山企画政策課長、大島副課長、志賀副課長、内山係長、岡田主任、杉田主事

8 発言の内容（要旨）

(1) 開会

(2) 委嘱状交付

委員を代表して濱祐子委員に委嘱状を交付

(3) 市長あいさつ

【村山秀幸市長】

皆様方にはご多用の中、委員をお引き受けいただき、心から感謝を申し上げます。あわせて、日ごろの市政運営について、多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

平成 26 年に人と地域が輝く「すこやかなまち」の実現を目指し、市民の皆さんと共に策定した「第 6 次総合計画」は、今年度で前期 4 年間の取組が完了し、次年度からの後期 4 年間は、計画の総仕上げに向けて、取組を加速させていく段階に移っている。

市では、昨年度から、計画に基づく各取組の現状や課題、取り巻く社会経済環境等を分析し、今後の方向性を明確化するための評価・検証作業に取り組んできた。その中で、人口減少や少子高齢化の進行による産業や農業の担い手不足や中山間地域の支え合い体制の低下、中心市街地の空洞化など様々な課題が深刻化しているものと捉えている。

一方、これまでの 4 年間では、北陸新幹線の開業という大きなまちの力が加わる中、国の地方創生の動きを捉えた交流人口の増加策や子育て環境の充実を図る取組などにより、新たな萌芽も現われてきた。そして、いよいよ 1 カ月余りに迫った新水族博物館「うみがたり」のオープンや今年度内の上信越自動車道の 4 車線化など、更なるまちの力が加わろうとしている。

本審議会においては、まちづくりに共に取り組む団体や NPO の代表の方々、そして専門的知見を有するの方々などからご就任いただいたところであり、委員の皆様におかれては、日々の活動や専門的な観点から、後期計画の策定に対して忌憚のないご意見をいただきたい。

委員の皆様のご健勝、ご多幸、さらなるご活躍を祈念申し上げます。

(4) 委員紹介

資料 1 委員名簿の順に委員を紹介

(5) 会長・副会長の選任

会長に川崎直哉委員、副会長に濱祐子委員を選任。会長、副会長あいさつ。

【川崎直哉会長】

上越市の総合計画審議会は、市長の諮問に応じ、上越市の総合計画に関する事項について調査や審議を行うこととされている。お引き受けした以上、皆様の協力を得ながら、精一杯頑張りたい。

【濱祐子副会長】

副会長として、皆様から活発な意見を出していただけるような雰囲気づくりをしながら、会長のサポートをさせていただきたい。

(6) 諮問

市長から審議会に諮問

(7) 議事

ア 議題(1) 審議会の運営等について

【事務局（大山課長）】

資料2、資料3により説明。

【土屋郁夫委員】

7月中旬のまちづくり意見交換会は、どのような形で開催されるのか。地域や回数、対象等を教えていただきたい。

【事務局（大山課長）】

市民どなたでも参加できるものとする。会場についてはまだ確定ではないが、浦川原区、柿崎区、板倉区のほか、合併前上越市などで4回程度を予定している。

【土屋郁夫委員】

進行によっては、市民の方から十分な意見が出ないのではないかと。

【事務局（大山課長）】

多くの方々から参加いただけるような工夫をしながら、これまでの計画を踏まえて、現状等についての意見交換を考えている。あくまで骨子案を作るための意見交換であり、具体化した計画については、今後パブリックコメント等で市民の方々から意見をいただきたい。

【土屋郁夫委員】

第2回以降の審議会の具体的なイメージを示していただきたい。

【事務局（大山課長）】

事務局で骨子案を作成し、それに対して意見をいただきたいと考えている。

イ 議題(2) 上越市の現状と課題 ①第6次総合計画の概要について

【事務局（大島副課長）】

第6次総合計画の概要版により説明。

ウ 議題(2) 上越市の現状と課題 ②上越市の現状と課題、③「市民の声アンケート」の結果について

【事務局（内山係長）】

資料4、資料5-1、資料5-2により説明。

【濱祐子副会長】

現状と課題の「(7)教育・文化分野」で、[6-1-1 知・徳・体を育む学校教育の推進]の現状について、学力テストの結果が小学校と中学校とで逆になっていると思われる。

【事務局（内山係長）】

担当課に確認し、必要により修正する。

【白石雅孝委員】

市民の声アンケートは、上越市に50年から60年程住み続けている方も対象になっていると思うが、上越市に転入される方は4,000人／年を超えている。仕事の都合で転勤された方もいれば、上越市を選んで転入された方もいると思う。これらの方々に意見を聞けば、他の地域との比較で上越市に足りないものなど、何かヒントがもらえるのではないかと。

【宮下孝洋委員】

市民の声アンケート報告書（概要）の、前回調査との満足度の比較の表の見方を教えていただきたい。

【事務局（内山係長）】

前回の調査と比較し、上昇率が大きいものを上位に記載している。

【小林良一委員】

人口減少は非常に大きな課題になっているが、4年前に予想した人口減少の推移と実情とで、差は出ているか。予想通りなのか。

【事務局（大島副課長）】

平成27年度の国勢調査で見れば、当時の推計値よりも実績値は約400人減少幅が大きい結果となっている。

【川崎直哉会長】

今後 30 年間で、日本の人口が 27%程減少すると言われている。1 年間で 1%近く減少していく計算になる。

【事務局（大島副課長）】

資料 4 でも示しているが、実際に上越市でも毎年 1%弱の人口が減少している。

【松田曜子委員】

「市民の声アンケート」の満足度、重要度の比較に関し、例えば前回のスコアが高ければ、今回増加していてもあまり変化は感じられないと思われる。スコアよりも割合で示した方が、この 4 年間の変化は伝わるのではないか。

【事務局（大島副課長）】

アンケート結果の見せ方については、内部でも検討したい。

【岡田龍一委員】

内容的に非常に難しく、分野も幅が広い。4 回の審議会で時間も限られている中で内容が漠然とし過ぎており、具体的にどのような意見を出せばよいか分からない。資料も、なるべく分かりやすく作成いただきたい。

【事務局（大島副課長）】

第 1 回目は全ての分野について現状と課題を整理して説明したため、議論が広がった。次回以降は、基本計画の骨子や具体的な案を示す中で、意見を伺いたい。なお、30 人の会議であるため、全ての方が発言できないことを考えて、会議を部会形式で開催したり、会議以外に紙ベースで意見をいただいたりする手法も考えている。

【山縣耕太郎委員】

上越市のデータだけでは、どれだけ深刻なのかが分からない。重要な部分に関して県内他市等と比較すれば、上越市として何が課題なのかが理解できると思う。

【事務局（大島副課長）】

人口減少に関心がある委員が多いので、次回までに人口減少に関する他市との比較資料を作成する。

【川崎直哉会長】

全ての施策に目標が設定されているが、達成できていない事業については、後期計画の中で強化するのか、それとも目標の見直しを行うのか。

【事務局（大山課長）】

目標の達成状況によっては見直しを検討しており、事業内容に強弱をつける作業も全庁的に進めている。

【土屋郁夫委員】

今回の審議会で、重点戦略を見直すことは考えているか。

【事務局（大島副課長）】

重点戦略については基本構想にあたるため、今回の審議会で見直しは考えていない。

(8) その他

【事務局（志賀副課長）】

今後のスケジュール等の事務連絡。

(9) 閉会

9 問合せ先

企画政策部企画政策課企画調整係

TEL : 025-526-5111（内線 1851、1852）

E-mail : kikaku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。